



病院の概要

- 医師数（研修医を除く）255名（うち指導医数 102名）
- 研修医数 1年目 19名 2年目 18名
- 研修医の主な出身大学

旭川医科大学・札幌医科大学・弘前大学・秋田大学・山形大学・東北大学・福島県立医科大学・東京医科歯科大学・東京医科大学・東京女子医科大学・日本医科大学・東京慈恵会医科大学・東邦大学・帝京大学・順天堂大学・杏林大学・日本大学・昭和大学・埼玉医科大学・獨協医科大学・聖マリアンナ医科大学・北里大学・東海大学・群馬大学・山梨大学・筑波大学・新潟大学・金沢大学・福井大学・浜松医科大学・名古屋市立大学・信州大学・藤田保健衛生大学・近畿大学・滋賀医科大学・川崎医科大学・島根大学・徳島大学・産業医科大学・熊本大学・佐賀大学・宮崎大学・鹿児島大学・琉球大学・漢陽大学・Shahid Beheshti University

- 診療科 内科 循環器内科 消化器内科 脳神経内科 糖尿病内科 膠原病内科 腎臓内科 血液内科 呼吸器内科 肝臓内科 アレルギー疾患内科 感染症内科 腫瘍内科 緩和ケア内科 心療内科 小児科 産婦人科 外科 整形外科 脳神経外科 心臓血管外科 消化器外科 肝臓外科 乳腺外科 呼吸器外科 気管食道外科 肛門外科 内視鏡外科 小児外科 泌尿器科 耳鼻いんこう科 頭頸部外科 眼科 形成外科 美容外科 皮膚科 麻酔科 救急科 放射線診断科 放射線治療科 病理診断科 臨床検査科 リハビリテーション科 歯科口腔外科

- 1日平均外来患者数 1375.2名 ● 1日平均入院患者数 579.2名

- 主な認定施設 地域医療支援病院、災害拠点病院、ロボット心臓手術実施施設、ダヴィンチ手術症例見学施設（前立腺摘出術、膀胱全摘除術）、埼玉県がん診療指定病院、卒後臨床研修評価機構認定病院、他



研修プログラムの特色

68週の必修期間と自分の将来への展望を踏まえ、選択期間を研修医の意向を尊重しながら、指導医と相談の上、組むことができます。市中病院にあって豊富な診療科を有する当院の特徴を生かしてもらいたいと思います。救急総合診療科研修・救急科研修&当直研修・地域医療研修を3本の柱とし、外科・麻酔科・産婦人科・小児科・精神科を必修科目としています。地域医療研修を北海道、鹿児島県、沖縄県、岡山県、香川県などのへき地・離島や宮城県の大震災地で行い、当該地域での医療ニーズを把握、訪問診療などの地域に密着した医療、医療資源の少ない地域での医療の特徴を学ぶとともに、異なる環境での研修を通じて医師としての自信を深めるチャンスとなります。また、研修期間を通じ、患者及び医療従事者の双方に安全な医療を遂行できる能力、すなわち医療事故の未然防止及び事後の対応方法を理解し、さらに病院感染防止対策について理解し、マニュアルに従って行動できる能力を身につけていきます。



プログラム 例 上尾中央総合病院臨床研修プログラム（募集定員19名）

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1年目▶	内科(24週)						救急部門(12週)		麻酔科(8週)		外科(8週)		
2年目▶	小児科(4週)	産婦人科(4週)	地域医療(4週)	精神科(4週)	選択期間								

○必修：内科系24週、救急科12週、麻酔科8週、外科8週、小児科4週、産婦人科4週、精神科4週、地域医療4週

※内科系(内科<糖尿病・血液>・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・神経内科・腎臓内科・腫瘍内科・総合診療科)から2科以上選択する。

※総合診療科は12週必修。

○選択：(内科<糖尿病・血液>、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、腎臓内科、腫瘍内科、総合診療科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、眼科)

※当院で決めた必須科目の外科については、4週は外科を必須として4週については外科系(外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、耳鼻いんこう科、泌尿器科)の中から選択できる。

※地域研修は必修4週、選択4週まで(合計8週選択可能) ※精神科研修は埼玉県立精神医療センターで実施する。



研修医の処遇

- 給与▶ 1年次：40万円/月 2年次：43万円/月
- 手当▶ 当直手当、日勤手当
- 保険▶ 埼玉県医師会健康保険組合、厚生年金保険、雇用保険あり、労災保険適用、厚生年金基金等企業年金あり、医師賠償責任保険（病院において加入）
- 勤務時間▶ 9時~17時30分（※土曜日は13時）
- 当直▶ あり（4回程度/月）
- 休暇▶ 有給休暇（入職3カ月後：3日 6カ月後：7日 初年度：10日支給）
その他（特別休暇・年末年始・産前産後休業・育児休業・介護休業）
- 宿舎▶ あり：当院規定（5万円を上限として、家賃半分を支給する※上尾市内市内在住限定）
- その他▶ 処遇：常勤、健康診断：年2回、医師賠償責任保険：病院において加入・個人加入は任意、学会・研究会等への参加：可、参加費用支給有、医療費見舞金制度、24時間保育園、保養所（軽井沢/那須/山中湖）、院内旅行、その他

主な臨床研修 協力病院・協力施設

- ・埼玉県立精神医療センター
- ・医療法人 徳洲会 帯広徳洲会病院
- ・医療法人 徳洲会 徳之島徳洲会病院
- ・医療法人 沖繩徳洲会 石垣島徳洲会病院
- ・医療法人 沖繩徳洲会 与論徳洲会病院
- ・気仙沼市立本吉病院
- ・社会医療法人 緑社会 金田病院
- ・小豆島中央病院
- ・社会医療法人 哲西会 哲西町診療所
- ・矢掛町国民健康保険病院 他



当院の魅力

『自立』『責任』『信頼』

当院の初期臨床研修のキーワードです。医師としての基盤となる3つの資質を身につけ、伸ばすことを約束するプログラムです。

『自立』 救急外来では年間約8,000台の救急車を研修医たちがファーストタッチで捌きます。指導医は裏方の役に徹し、研修医がまさしく自分自身の力で診療する能力を養います。

『責任』 総合診療科研修ではほぼ主治医に匹敵する仕事を任せられます。治療方針の決定やICも研修医の仕事です。甘えは許されません。

『信頼』 地域医療研修では自ら外来枠をもちます。患者さんひとりひとりと密接な関係性を構築することが求められます。

◎「ほどほど」「そこそこ」という研修を求めています。「徹底的に」学んでください。サポートもしっかり行います。臨床研修管理委員会とは別に臨床研修指導者委員会を設置し、5~10年目の若手医師、看護師、メディカルスタッフが研修医ひとりひとりに目を向けて研修の様子をいつも見守っています。



研修責任者から



プログラム責任者
黒沢 祥浩

3年後、専攻医研修を受けている自分を想像してください。多くの研修医は大学病院に所属し、アルバイト生活を始めます。アルバイト先では当直業務を自分一人で行うことになります。「指導医」はいません。業務のどんな場面にあっても適切に診療していく……。

当院の研修卒業生たちは、救急能力を身につけています。「自信をもってやっています」「上尾での救急に比べたら患者数も重症度も大したことないです」と卒業生たちは口を揃えてこのように話しています。当院に見学に来られる学生さんたちは「研修医の先生、カッコいいですね」と言ってくれます。そう評価されるための環境を準備して皆さんを待っています。

先輩研修医から



研修医1年目
福田 雪子

雰囲気の良いだけでこの病院を選んだと言っても過言ではありません。正直、必修科や当直の大変さなどはそっちのけでした。これだけ雰囲気が良ければ早くも頑張っているだろうと。しかし研修が始まり、その考えは甘かったかもしれないと思う日もありました。当直中は眠いし、お腹がすきます。1回乗り越えたとおもってもまたすぐに次の当直の日がやってきます。ある科では手技が雑だ、とか、何もわかっていない、と怒られたり、患者さんに聞かれたことにまともに答えられなかったり。自分の知識の無さや要領の悪さに、泣きそうになったこともあります。

ここまで読むと、辛いだけで何も楽しくない研修生活を想像してしまう方もいるかもしれませんが、そうではありません。当直は、自分が診た患者さんが元気になって帰っていくのはやはり嬉しいです。先生方は、怒りっぱなしではなく、どうすればよかったかをきちんと指導してくださるので、しっかり勉強し直して次こそはやっつ！と奮い立たされます。このように、辛かったり、かと思えばやる気が出てきたり、メンタルはジェットコースター状態ですが、そんな私を支えてくれるのは間違いなく先輩や同期の存在です。大丈夫？何でも言ってねと声をかけてくれる先輩、愚痴を決定しても笑い飛ばしてくれる同期がたくさんいます。研修医室はとても自由な雰囲気、勉強している人、ずっと喋っている人、いつも寝ている人、いろいろいます。自分の机に置いておいたお菓子がなくなったら私のいないところでお菓子パーティーが開かれていることも……(笑)今では仕事が終わって研修医室に戻り人と話すのが日々の楽しみになっています。ほとんど雰囲気だけで選んだとは言え、その直感間違いではなかったと心から思っています！

「1年目が救急車のファーストタッチを担当するのは、いつからだと思う？」
—「3か月目くらいですか？」 —「2台目だよ」
見学の時のこのやりとりは今でもよく覚えてます。

そして、4月10日には早くも初当直を迎えました。正直に言って何も分かりません。カルテの使い方も、どこに何があるかも、どこまでが看護師さんの仕事で何が自分の仕事なのかも全く分かりません。先輩は「今日は初めてで大変だと思うけど、俺らが後ろにつくから一緒に頑張ろう！」と言って下さいました。しかし、その日は電話が鳴り止まず、頼みの綱だった先輩も手が離せない状況となり、初ファーストタッチは自分一人で行うことになりました。転倒外傷の患者さんでした。頭から血を流す患者さんを目の前に、現場は猛スピードで進行していきました。そんな中、何も出来なかった自分は本当に無力でした。国試のためにあれだけ勉強したのに、という悔しい気持ちと、勉強したからどうにかなんと考えていた甘い自分に対する情けない気持ちとが重なり、かなり落ち込みました。しかし、救急車はそんな僕に構うことなく次々に到着し、気付けば何もできないまま朝を迎えました。



研修医1年目
井原 健人

このように散々なスタートを切った僕ですが、人間は不思議なもので、一度底を見ると、もうこれ以上悪いことはないだろうと上が見えてきます。医学に対する向上心は過去最大になり、本を開くことも苦ではなく、学生の頃一番苦手だった早起きも、今では目覚まし鳴る前になんか起きることができています。また、常に目標である2年目の先輩方への刺激を受け続け、切磋琢磨し合う同期もいて、オン・オフのはっきりとした労働環境のおかげもあり、5月病になりそうな気配を微塵も感ぜることなく、充実した日々を送っています。医師人生のスタートをここ上尾に選んで良かったと、心からそう思います。



女性医師支援コーナー

当院では、女性医師の働きやすい環境を整えるため、以下の規定があり、ひとりひとりの研修医にそれぞれの働きやすい環境を提供できるようにサポートします。

一 妊産婦への配慮一

【妊娠中】

母体保護の観点から、妊婦中の研修医は原則として当直研修を行わない。ただし、本人より当直以外の時間外勤務の希望があれば臨床研修センター長および救急総合診療科責任者との面談・調整の上、土曜日の午後や日祝日の日中等に研修を行ってよいこととする。

【育児中】

育児中の当直は研修医および児の状況を勘案し、臨床研修センター長および救急総合診療科責任者との面談・調整の上、当直研修実施の有無および回数を決定することとする。

- ・短時間勤務制度
- ・院内保育の設置
- ・当直免除

※実績あり。現在も当院で勤務しています。



連絡先

上尾中央総合病院

人事課 秘書係(臨床研修担当)

〒362-8588 上尾市柏座1-10-10

TEL 048-773-1111(代表)

FAX 048-773-2952

E-mail ishi_jinj@ach.or.jp

URL http://www.ach.or.jp

アクセス JR高崎線上尾駅西口より徒歩3分



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

【見学】

初期臨床研修一病院見学フォーラムよりお申し込みください。

【2022年度・初期臨床研修プログラム説明会】

2021年3月27日(土)14:00~17:00(予定)

※医学生もご参加いただけますので
ご気軽にお問い合わせください。